

～100年先へ文化をつなぐ～文化の実験的ミュージアム
MoN Takanawa 開館記念プログラム

万博のあの体験、ついに東京へ。
石黒浩プロデュース「いのちの未来+」7月25日開幕
落合陽一氏をゲストに迎えトークショーも実施！

「MoN Takanawa: The Museum of Narratives（モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ）」（東京都港区、運営：一般財団法人JR東日本文化創造財団）は、ATRいのちの未来研究所及び株式会社パルコと共同で主催する開館記念プログラムとして、大阪・関西万博のシグネチャーパビリオンで高い評価を得た、石黒浩プロデュース「いのちの未来」をアップデートした「いのちの未来+（読み：いのちのみらいぷらす）」を開催いたします。

本展は、ロボット工学・アンドロイド研究の第一人者である石黒浩（大阪大学教授／ATRいのちの未来研究所客員所長）の監修のもと、万博での深い感動はそのままに、来館者が「いのちの未来の選択」に向き合う新たなシナリオを追加しました。大阪・関西万博で来場者を魅了したヤマトロイドやモモなどの最新型アンドロイドたちが東京・高輪の地に舞台を移し、さらに進化した体験を創出します。また、会期中はトークショーやワークショップなどのイベント、ドリルや図録などオリジナルグッズの販売も予定しております。科学と人文を横断しながら、「生を受けた者として大切な問い」と向き合う本企画は、世代を問わず、多くの方々に生命（いのち）の根源を揺さぶる知的体験を提供します。



©FUTURE OF LIFE

■「漱石アンドロイド2.0」との対話体験

今回、新たな試みとして、アンドロイドとの対話体験を導入。来館者一人ひとりがより深く“いのちの未来”について考える、没入感のある体験へとアップデートされています。夏目漱石（二松学舎卒業生）のアンドロイドが、最新AIでさらに進化。自律的な対話が可能になり、漱石にまつわる質問にも自分の言葉で答えます。



©FUTURE OF LIFE

※学校法人二松学舎150周年記念制作協力。ご参加には別途、専用チケットが必要です。

■落合陽一氏をゲストにトークイベントを開催

本展が投げかける「人間とは何か」「いのちとは何か」という根源的な問いを中心に、石黒浩のアンドロイド研究が提示する生命観について独自の視点で、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー落合陽一氏をゲストに迎え、ディスカッションを展開いたします。



©FUTURE OF LIFE

開催日：2026年8月6日（木）（予定）

会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives 内

出演者：石黒浩（大阪大学教授／ATRいのちの未来研究所客員所長）、落合陽一（メディアアーティスト）

※イベント詳細、参加方法などは追って、公式ウェブサイトにてお知らせいたします。

■「ドリル いのちの未来 いのちについて考える30の問題」

本展の開催に合わせ、「いのちとは何か」を考えるオリジナルドリルが出版されます。

このドリルは、展示内容からさらに一歩進んだ「いのちとは何か」「いのちの未来はどうなるのか」という根源的な問いを、親子で一緒に考え、解き合っていく特別なワークブックです。

また、会期中にはこのドリルを活用し、親子で参加できる体験型ワークショップも現在企画中です。詳細は決まり次第、公式ウェブサイト・SNSにて発表いたします。



発売日：「いのちの未来+」の会場にて8月上旬から先行販売

著：いのちの未来研究所

定価：1,760円（税込）

ISBN978-4-86506-491-9

サイズ：A5判変型（縦190mm×横148mm）ページ：80ページ

発行：株式会社パルコ（PARCO出版）

■「いのちの未来 公式図録」

わたしたちは、生きたいいのちを生きられる。

2025年大阪・関西万博のあの体験をビジュアルブック化。



__アンドロイドが身近にいたらどんなことを頼んでみたい？一緒に何をしてみたい？

__カラダや場所、時間の制約がなくなったら何に挑戦してみたい？どんな生き方をしてみたい？

世代を問わず、新しく、生命（いのち）の根源を揺さぶる知的体験。最新技術のアンドロイドで“いのちとは何か”の問いに迫り、万博で多くの人々を魅了した未来の物語を追体験するビジュアルブック。本作は図録という立ち位置ながら、石黒浩博士の研究を視覚的要素を交えて書籍化した初の試みです。

発売日：「いのちの未来+」の会場にて7月25日から先行販売

著：石黒浩

定価：3,300円（税込）

ISBN：978-4-86506-489-6

サイズ：A4判変型（縦 297mm×横 225mm）ページ：112ページ

発行：株式会社パルコ（PARCO出版）

■万博で要望の多かったオリジナル商品を大幅拡充



万博会期中、「いのちの未来」パビリオンで販売され好評を博した人気商品の一部再販に加え、本展限定の新たなオリジナルグッズも販売いたします。特にキービジュアルにも用いられているアンドロイドの「ヤマトロイド」をはじめ、「プニカ」「パンジー」「ペトラ」をモチーフにした新デザインのアイテムを展開。お手に取りやすいアイテムから、日頃から身に着けられるデイリーユースなアイテムまで、

ご来場の記念やお土産に最適なラインナップをご用意いたしました。

また、オリジナルTシャツにはキッズサイズも展開しており、親子でお楽しみいただける内容となっております。



左上

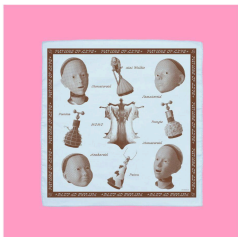
OTシャツ

プニカ・ペトラ・パンジー

サイズ：110,140,S,M,L,XL

価格：110,140 3,500円（税込）

S,M,L,XL 5,500円（税込）



右上

OTシャツ

キービジュアル

サイズ：S,M,L,XL

価格：S,M,L,XL 5,500円（税込）

左下

○バンダナ

キービジュアル

価格：2,800円（税込）

右下

○香水 millenniums

価格：3,850円（税込）

※詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

■ 本展で活躍するアンドロイド

・ヤマトロイド

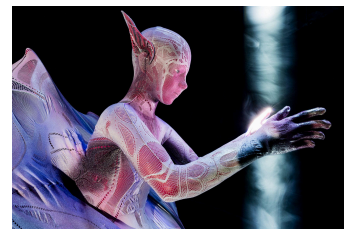
「ZONE2 50年後の未来」に登場するヤマトロイドは、日本の心を宿すアバターアンドロイド。

約60カ所の可動箇所をつくり、それらの動きを組み合わせることで実現したなめらかな動作で、人間と共存する未来の姿を体現します。

・モモ

「ZONE3 1000年後のいのち“まほろば”」に立つモモは、アンドロイドと生身の人間の隔たりがなくなった1000年以上先の未来における、進化した人間＝ミレニアムヒューマン。全身シリコンスキンによる有機的な質感と生き物のような柔らかさや表情を表現する衣装、旋回・上下・前後を組み合わせた浮遊するような動作で、来場者の想像力を静かに揺さぶります。

このほか様々なアンドロイドたちが登場。本展では新たなシナリオが加わり、「いのちとは何か」という問いに深く向き合うための対話がさらに深化した形で描かれます。



【開催概要】いのちの未来+

■会期：2026年7月25日（土）～9月25日（金） 第1期会期中 休演日 8月3日(月)

※休演日は変更・追加となる可能性があります。詳しくは公式サイトをご覧ください。

■会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives (Box1000)

■主催：いのちの未来研究所 (ATR | 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所)、MoN Takanawa: The Museum of Narratives、株式会社パルコ

■共催：公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会

■特別協力：京都府

■協賛：長谷エグループ、岩瀬コスファ株式会社、社会福祉法人慶生会、塩野義製薬株式会社

■技術協賛：株式会社ハートスホールディングス

■技術協力：大阪大学大学院基礎工学研究科知能ロボット学研究室、株式会社国際電気通信基礎技術研究所 インタラクション技術バンク、ムーンショット型研究開発事業目標1 アバター共生社会プロジェクト、国立研究開発法人理化学研究所

■展示協力：

一般社団法人全国介護事業者連盟万博コンソーシアム 2025、シスメックス株式会社、学校法人二松学舎

◆展覧会 公式ウェブサイト：

https://montakanawa.jp/programs/future_of_life/

◆展覧会 公式Instagram：

<https://www.instagram.com/futureoflife.lab/>

◆MoN Takanawa X：

<https://x.com/montakanawa>

■チケット情報

販売期間：

第1期〈販売対象期間：7月25日（土）～8月17日（月）〉 6月12日（金）より発売中

第2期〈販売対象期間：8月19日（水）～9月7日（月）〉 8月 4日（火）～発売予定

第3期〈販売対象期間：9月9日（水）～9月25日（金）〉 8月 27日（木）～発売予定

チケット購入：MoN Takanawaチケット（会員限定）、

MoN Takanawa公式プレイガイド Fever（ゲスト販売）、イープラス

券種（税込）：

一般：前売券 平日 3,500円／土日祝 4,000円、当日券 平日 4,000円／土日祝 4,500円

U25：平日・土日祝 2,500円

中学生以下：平日・土日祝 1,500円

※30分ごとの日時指定。

※お盆時期にあたる8月13日（木）、14日（金）は土日祝料金になります。

※販売期間ごとに、来場者特典を予定しています。

Box1500で開催中の「ぐるぐる展-進化しつづける人類の物語」とのセット券も販売予定。

ぜひ、ご家族やご友人とお越しください。

■ 伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム

MoN Takanawa: The Museum of Narrativesについて

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問(問い)」の2つの意味が込められています。



Photo: Yasuyuki TAKAKI

公式ウェブサイト：<https://montakanawa.jp/>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/montakanawa/> (@montakanawa)

今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよびSNSを通じて順次発信いたします。

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人JR東日本文化創造財団
敷地面積	7,977.31 m ²
延床面積	28,952.55 m ²
高さ	44.98 m
階数	地上6階・地下3階
主用途	展示場、ホール、飲食施設 等
設計者・デザイナー	品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）設計共同企業体 外装デザインアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所

■一般財団法人JR東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人JR東日本文化創造財団の登録商標です。

※詳しくは公式ウェブサイトおよび販売プレイガイドをご確認ください。

※展示内容・コンテンツ内容および各種サービスは変更となる場合がございます。

オフィシャル画像は下記リンクよりダウンロードが可能です。

URL：

<https://drive.google.com/drive/folders/13sM8L9NerzNALVqHqyTySoXb7SVWJQgW>

※本リリースの画像をご使用の際は、

必ず下記のクレジット（権利表記）をご記載いただきますようお願いいたします。

【クレジット表記：©FUTURE OF LIFE】

<「いのちの未来+」の企画に関する問い合わせ先>

株式会社パルコ コンテンツ事業開発部

長谷部（hase-yudai@parco.jp）・村山（mura-tetu@parco.jp）

<「いのちの未来+」のご取材に関する問い合わせ先>

パルコ広報事務局

担当：野澤（050-3527-0502）／長岡／岸本

MAIL：parco@vectorinc.co.jp TEL:03-6821-5730 FAX:03-5572-6065